

編集後記

『東海学園 言語・文学・文化』第十八号（通巻第七十七号）をお届けいたします。平成最後を飾る巻となりました。次の元号「令和」は『万葉集』を典拠として発表されましたが、さらにその典拠は『文選』所収の張衡「埤田賦」と言われます。東アジア世界に広がる緩やかなつながりを感じさせるこの元号がふさわしい平和な時代となることを、そしてこの小さな雑誌が、昭和・平成・令和と末永く続くことを祈念します。今後とも皆様の御支援をお願い申し上げます。

(松)

東海学園 言語・文学・文化

第十八号（通巻第七十七号）

平成三十一年 三月二十日 印刷 非売品

平成三十一年 三月三十日 発行

編集 名古屋市天白区中平二丁目九〇一番地

発行 東海学園大学日本文化学会

代表 大場 厚志

電話 (052) 801-1201

振替 0083015129322

印刷所 豊橋市下地町字宮腰二四

(株) イシダ グロ 高速印刷